

6 : H S P 7 0 欠損牛の臨床学的・病理学的研究

獣医学科 病態獣医学講座 古岡秀文

臨床獣医学講座 佐藤基佳

大動物特殊疾病研究センター 大星健治・山岸則夫

メールアドレス furuoka@obihiro.ac.jp

研究の概要

【目的】 牛の遺伝性疾患はいくつか知られ、その遺伝子解析も進みつつある。今回ホルスタイン牛の遺伝性横隔膜筋症の原因遺伝子が同定されたのを受け、当大学畜産フィールド科学センターにおいて飼育されているホルスタイン牛について遺伝子検査を実施した。172頭中1頭が未発症欠損牛であることが判明したので、廃用に際し、譲渡を受け臨床病理学的、病理学的検索を実施する。

【方法】 X線検査による消化管の動態、一般血液検査および病理学的検査を実施する。

【結果】 未発症欠損牛では X線検査、臨床病理学的に著変は得られなかった。病理学的には横隔膜筋組織には大小不同、空胞変性といった変化はほとんどみられなかったが、特徴的なコア様構造の形成が確認された(下図参照)。このことから、コア様構造形成が初期の病態であり、その解明が原因蛋白の役割と病理発生機序の解明に重要であると考えられた。

